

第1章 RESASによる秋田の地域経済分析報告書について

1 目的

地域経済分析システム（RESAS）とは、民間や省庁が保有するビッグデータを集約し、産業構造や人口動態、観光客の流れなどを「見える化」するシステムであり、平成27年4月に国がインターネット上で提供を開始した。

人口減少に歯止めをかけ、地域の特徴を生かして自立的で持続的な社会をつくりあげる「地方創生」を実現するための様々な取組を、より効果的なものにするためには、地域経済に関するデータに基づいた企画・検証が不可欠であり、RESASの積極的な活用が官民を問わず期待されている。

本報告書は、RESASの普及を図り、広く活用を促すことを目的とした「RESAS普及促進事業」の一環として、RESASを活用した産業分析による秋田県及び県内市町村の産業の強み・弱みなど、地域特性を独自に分析・比較した結果を報告するものである。

2 分析の手順

本報告書における経済・産業の分析は、次のような手順で行う。

まず第2章で、秋田県の経済全般に関して、産業構造・産業規模、労働生産性、移輸出収支、地域への波及効果の各面から分析する。続く第3章では、農林水産業、製造業、卸売・小売業、医療・福祉、観光・インバウンドの産業分野ごとに、他地域との比較を交え、本県経済の特徴や課題について分析する。

第4章では、県内の25市町村ごとに、地域産業の特徴や強み・弱み、産業振興の方向性などを分析する。第5章では、県内の複数の地域について自治体が連携することによる産業振興の可能性について分析し、地域連携の提言を行う。

なお、RESASは平成29年2月末に新たにマップ・メニューが追加されているが、本分析報告書は、基本的に追加前のマップ・メニューを中心に作成している（一部新たなメニューも分析に利用）。